

令和7年度 12月号



ふようだより

台東区立富士幼稚園
園長 足立祐子
台東区浅草 4-48-18
電話 3874-2460
fiji-yo@city.taito.tokyo.jp



創立75周年おめでとう

園長 足立祐子

いよいよ冬の到来ですね。日に日に寒さを感じる季節となりました。しかし、園での子供たちの様子を見ると、どの学年も元気いっぱいに駆け回っています。健康でたくましく育っていくために、幼児期である「今しか出来ないこと」「今やると良いこと」がたくさんあります。「できれば園で経験してきてほしい」と思うこともあるでしょう。しかし、家族で共有する「すごい!」「嬉しい!」「楽しい!」という感情体験は貴重です。あっという間に過ぎていく子育て時期、この時期と一緒に楽しんで過ごしましょう。

○75年の歴史を振り返って

先月11月26日に富士幼稚園創立75周年、富士小学校創立125周年のお祝いの行事が開かれました。5歳児月組が代表で式典に参加しました。周年行事は概ね5年、10年の節目で行っています。小学校ですと6年間に1度は関わることがありますが、幼稚園で周年行事の年に在園することは極めて幸運なことなのです。幼稚園の歴史を学ぶ機会や思い出に残る記念行事、そして一緒に活動する富士小学校の児童の皆さんと一緒に活動も、思い出に残ることでしょう。園児の記念品のキーホルダーは、役員の皆さんのがデザインしてくださいました。大切な思い出にして下さい。

○年長組の研究所

年長月組には様々な研究所が出来ていて、その季節に応じた研究活動（ごっこ）が進められています。そこには、園庭のふじっここの森から見つけてきた虫たち、葉っぱ、木の実、種、落ちていた花や、それぞれの子供たちが家の近くや旅行先で見つけてきたものなどを持ち込んで、図鑑で調べたり虫眼鏡や電子顕微鏡で拡大してみたりしています。

ここで「なぜだろう?」「どうなるのかな?」と思うことがあります大事です。その気持ちがないと、その先の答えを知ろうとも努めないからです。また、その疑問が生じたときに即座に大人が正解を教えてしまうことは、非常にもったいないことなのです。今は、インターネットですぐに答えが得られますが、実物に関わること、考えてみることは幼児期の子供たちには大事な学びです。「なんだろうね」「冷たいね」「一緒に調べてみようか」という手間をかけることで、学ぶこと、知ることの楽しさを覚えていきます。園では先生たちも答えをすぐには教えません。家で「先生に聞いたけれど分からなかった」と言った時に、「大人なのにそんなことも分らないのか?」と思わず、子供たちが長い時間をかけて自分で納得にたどりつく過程を、「期待して環境を整え、必要な援助をしながら見守っている」とご理解ください。

富士幼稚園では『とうきょうすくわくプログラム』での取り組みとして様々な探究活動に取り組んでいます。保護者の皆様にはその取り組みの様子を別紙にてお知らせします。

12月は楽しい行事もたくさんありますので、健康に気をつけて過ごしてまいりましょう。

